

府中市市史編さん審議会  
第5期答申

市史編さん事業の進捗と市史の活用について

令和7年3月

府中市市史編さん審議会

## はじめに

府中市は、平成26年に市制施行60周年を迎え、これを機に、70周年までの10年間で、新たな市史の編さんに取り組むことになりました。

市では、平成26年7月に学識経験者や公募市民等10名で構成される府中市史編さん協議会を設置し、翌年1月に府中市史編さん方針を策定しました。

平成27年度には、市長の附属機関として府中市市史編さん審議会（任期2年間・以下、「審議会」といいます。）が設置され、委嘱を受けた学識経験者及び、関係団体の代表並びに公募市民からなる10名の委員が、府中市史編さん事業についての諮問を受け、審議を重ねてまいりました。

審議会は、第1期（平成27年6月～平成29年5月）に5回、第2期（平成29年6月～令和元年5月）に5回、第3期（令和元年6月～令和3年5月）に4回、第4期（令和3年6月～令和5年5月）に3回、今期である第5期（令和5年6月～令和7年3月）に3回の会議を開催し、今期は、諮問事項の「市史編さん事業の進捗と市史の活用について」を審議してまいりました。

以下、第5期となる今期の2年間に開催した審議会において、審議した内容と結果について、答申書として提出いたします。

### 1 審議会の開催状況について

今期は10年間にわたる市史編さん事業の最終となる期間であり、令和5年度末までに市史編さんの根幹となる通史編を刊行する計画となっておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの理由による、計画の見直しについて報告を受けました。市史編さん事業については、遅れが生じてはいるものの、令和7年3月末までに全ての通史編が刊行できることを確認し、了承しました。

また、古文書調査報告書「押立金井家文書」については、当該感染症が令和5年5月に第5類感染症に移行したことで、少しずつ調査を再開することができましたが、令和6年度中の刊行ができないことの報告を受け、了承しました。

#### (1) 令和5年度開催の審議会

ア 令和5年度第2回 令和5年8月9日（火）

会場：ふるさと府中歴史館3階 市史編さん資料室

議題：第5期審議会委員委嘱

市史編さん事業の進捗状況と市史刊行物の発行予定について

令和5年度事業の予定について

令和6年度事業の予定について

#### (2) 令和6年度開催の審議会

ア 令和6年度第1回 令和6年6月14日（金）

会場：ふるさと府中歴史館3階 市史編さん資料室

議題：令和6年度市史編さん体制について

市史編さん事業の進捗状況と市史刊行物の発行予定について  
令和6年度事業の予定について  
市史の今後の活用について

イ 令和6年度第2回 令和7年3月18日（火）

会場：ふるさと府中歴史館3階 市史編さん資料室

議題：新 府中市史 刊行計画について

府中市市史編さん審議会 第5期答申（案）について

## 2 市史編さん専門部会の活動について

市史編さん専門部会は、原始・古代、中世、近世、近現代、自然、民俗、考古・美術工芸の7分野が設置されていますが、部会ごとに刊行計画を管理し、通史編の刊行に向けての資料収集と調査研究に合わせて執筆作業が進められました。

しかしながら、専門部会の活動にもコロナ禍の影響は避けがたく、市民や関係機関との対面調査は控えざるを得なかった影響などにより、執筆者からの原稿の作成・提出が大きく遅れたことから、刊行計画を見直さざるを得なかったが、全ての通史編の刊行が、市制施行70周年となる令和6年度末までに刊行する計画全体には影響を及ぼさないよう努めているとの報告を受け、了承しております。

(1) 各専門部会による主な成果

ア 原始・古代専門部会

『新 府中市史 原始・古代 通史編』を令和6年3月に刊行しました。

イ 中世専門部会

『新 府中市史 中世 通史編』を令和5年12月に刊行しました。

ウ 近世専門部会

『新 府中市史 近世 通史編』を令和6年12月に刊行しました。

エ 近現代専門部会

『新 府中市史 近現代 通史編（上）』を令和6年3月に、『通史編（下）』を令和6年9月に刊行しました。

オ 自然専門部会

『新 府中市史 自然編』を令和6年3月に刊行しました。

カ 民俗専門部会

『新 府中市史 民俗編』を令和7年3月に刊行しました。

キ 考古・美術工芸専門部会

『新 府中市史 考古・美術工芸編』を令和6年9月に刊行しました。

## 3 市史刊行物の発行について

審議会の今期の2年間において、8種類の市史刊行物が発行されました。刊行物の頒布価格については、それぞれの印刷経費に基づいて適正に設定されていました。審議会において当初より要望していた、市民が入手しやすい頒布価格を実現しているものと認められ

ます。

各刊行物については、学校、図書館、博物館などの関係施設、市外の関係機関などに配布されました。また、ふるさと府中歴史館の市史編さん事務室、市政情報センター、郷土の森博物館、観光情報センターにおいて頒布されています。

既刊の刊行物を含めて、現在までに31種類の市史刊行物が発行されており、発行した各刊行物については、いずれも学術的にも価値が高い内容であることから、広範な需要があることがうかがわれます。

#### 今期の市史刊行物と頒布価格

##### (1) 通史編

通史編は、各時代・分野の通史を叙述した刊行物

- ア 『新 府中市史 原始・古代 通史編』 3, 100円
- イ 『新 府中市史 中世 通史編』 3, 600円
- ウ 『新 府中市史 近世 通史編』 4, 700円
- エ 『新 府中市史 近現代 通史編 (上)』 3, 100円
- オ 『新 府中市史 近現代 通史編 (下)』 4, 200円
- カ 『新 府中市史 自然編』 3, 800円
- キ 『新 府中市史 民俗編』 4, 200円
- ク 『新 府中市史 考古・美術工芸編』 9, 000円

##### (2) その他の刊行物

資料編・通史編・報告書以外の付属刊行物

- ア 『新 府中市史研究 武蔵府中を考える 第6号』 800円

#### 4 『府中市史編さんだより』の発行について

市史編さん事業の市民への周知を目的として、府中市史編さんだより（以下、「編さんだより」といいます。）が1回発行されました。編さんだよりについては、ふるさと府中歴史館をはじめ、市内各所の施設で配布されています。また、編さんだよりのバックナンバーについては、市史編さん事務室で常時配布されています。

##### (1) 府中市史編さんだより

- ア 第14号（令和7年3月発行予定）

#### 5 市史刊行記念事業について

全通史編が刊行となる令和6年度が10年間にわたる市史編さん事業の最終年度となることから、市史刊行記念事業を次のとおり開催するとともに、市民協働まつりなどにブースを出展するなどPR活動にも努めたとの報告を受けております。

##### (1) 市史刊行記念パネル展

- ア 日時 令和6年10月18日（金）～20日（日）午前10時～午後8時
- イ 場所 フォーリス1階 「光と風の広場」

ウ 内容 『新 府中市史』の各専門分野における成果や各専門部会の紹介などのパネルを展示するとともに、通史編等の販売を行った。

(2) 市史刊行記念講演会・座談会

ア 日時 令和6年10月26日(土) 午前10時～正午

イ 場所 市民活動センター「プラッツ」バルトホール

ウ 内容

(a) 講演会 講師：坂詰秀一氏

テーマ：市史編さん事業の成果

(b) 座談会 参加者：高野律雄市長、坂詰秀一会長、酒井清治部会長、海老澤衷部会長、吉田ゆり子部会長、新井勝紘部会長、三上岳彦部会長、松田睦彦委員、猿渡昌盛委員

テーマ：市史編さん事業を振り返って

(3) 市史刊行記念関連事業 生涯学習センター定期講座「やはり府中はすごかった！」

ア 日程

① 中世編 10月19日(土) 海老澤衷部会長「中世府中の輝き」

② 近世編 11月 2日(土) 吉田ゆり子部会長

「17世紀の府中

—多摩川の流りに翻弄された地域の人びと—

③ 自然編 11月23日(土) 三上岳彦部会長「府中市の気候変動を探る」

④ 原始・古代編 12月7日(土) 酒井清治部会長

「府中の遺跡からみた人々の営みとその変遷」

⑤ 民俗編 12月28日(土) 八木橋伸浩部会長

「府中の民俗にみるハレとケのくらし」

⑥ 考古・美術工芸 2月15日(土) 副島弘道委員「府中の仏像-その魅力-」

⑦ 近現代編 3月1日(土) 杉山弘委員「浅間山をめぐる近現代史」

イ 場所 府中市生涯学習センター 2階 講堂

ウ 内容

府中市史編さん委員会の各専門部会の代表者による全7回にわたる連続講座

## 6 PR活動

(1) ケヤキ並木指定100周年記念フェスティバル

ア 日時 令和6年11月3日(日) 午前10時30分～午後4時

イ 場所 けやき並木通り

ウ 内容 「新 府中市史」の展示等

(2) 市民協働まつり

ア 日時 令和6年11月23日(土)・24日(日) 午前10時～午後4時

イ 場所 市民活動センター「プラッツ」

ウ 内容 「新 府中市史」とパネルの展示等

(3) ケヤキ並木指定100周年パネル展

ア 日時 令和6年12月2日(月)～6日(金) 午前11時～午後5時

イ 場所 フォーリス1階 「光と風の広場」

ウ 内容 「新府中市史」パンフレットの配布

(4) ケヤキ並木指定100周年講演会

ア 日時 令和6年12月8日(日)

イ 場所 市民活動センター「プラッツ」バルトホール

ウ 内容 「新府中市史」の紹介とパネル展示等

(5) 多摩郷土誌フェア

ア 日時 令和7年1月18日(土)・19日(日) 午前10時～午後5時

イ 場所 立川市柴崎学習会館

ウ 内容

郷土誌の紹介と普及を図ることを目的として、東京都市社会教育課長会主催による、郷土誌の展示と販売事業。

(6) 市広報紙

「新府中市史」刊行物語(11月15日号から全8回)

## 7 市史の活用について

これまで、市史編さん事業の活用として、6回にわたり市史編さん講演会を開催してきたところ、府中に関わる歴史を多くの人にご理解いただくとともに、市史編さん事業の市民への周知にも効果があったものと考えます。

このことから、全ての通史編が刊行されたことで、市史編さん事業は終了することになりますが、今後については市史の活用に重点を置いて、次のような取組みを推進する必要があるものと考えます。

(1) 索引・年表の作成

(2) ダイジェスト版の作成

(3) 市史のデジタル化

(4) 市のイベントなどでの市史紹介ブースの出店(新発見紹介、パネル掲出、アンケート)

(5) 教育機関での活用

(6) 生涯学習センターとの連携(講演会や講座の開催)

(7) 図書館との連携(市史のPR)

(8) 市史編さん事業の過程で収集した膨大な史資料の整理及び目録の作成と活用

## おわりに

以上のように、今期の2年間において、諮問事項である「市史編さん事業の進捗と市史の活用について」は、一部計画の見直しはあったものの、概ね順調かつ適正に進められているものと認められました。特に、コロナ禍を経験しながらも、当初予定した10年間という期間内で、市史編さん事業を終えることができたことは、事業の進捗に向けた各専門部会及び

主管課の尽力を評価できます。

なお、10年間に及ぶ市史編さん事業は、通史編の刊行をもってひとまず区切りが付きませんが、今後は府中市史の活用などへの対応が求められることになるので、その適切な対応は市当局に委ねたいと思います。